新しい熊本の「かたち」が見えてきました。

特集2

市町村合併

県内の市町村は、市町村合併により来年3月末には48市町村に再編されます。合併した市町村では、行財政基盤が強化される素地ができ、各地で新しいまちづくりが始まっています。

一方、合併を選択しなかった市町村は32あり、このうち人口が1万未満の小規模な町村は16とその半分を占めています。なお、このうち10町村が、高齢化率30%を超えている状況です。

（平成18.3.31現在）

市町村を取り巻く環境が大きく変わってきている中、市町村合併は 自分の住んでいるまちの将来を考える大事なチャンスです。もう一度みんなで考えてみませんか。

市町村を取り巻く環境は大きくかつ、急激に変化しています。

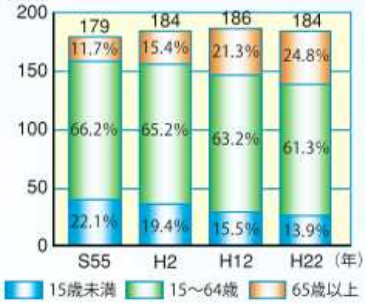
地方分権の進展

地方分権時代を迎え、市町村の役割は拡大してきています。

これからの地方分権型社会では、市町村が中心になります。

人口減少・少子高齢化の進行

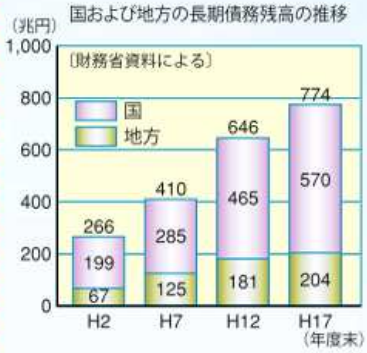
日本の人口は平成18年をピークに減少。県内では平成22年には、4人に1人が高齢者になる見込みです。



税を負担する人が減り、医療・保健・福祉などのサービスを受ける人が増えてきます。

国・地方の厳しい財政状況

国と地方を合わせた借金（長期債務残高）は平成17年度末で約774兆円（国民1人当たり約600万円）になる見込みです。



行政サービスの維持が困難になってきています。

こうした環境の変化に的確に対応していくためには、人材や組織の充実、行財政の効率化などにより市町村のパワーアップが必要です。その有効な手段の一つが 市町村合併であり、引き続き合併の推進が必要です。

今後の市町村合併に関する皆さんのご意見を募集しています。

氏名、年齢、性別、連絡先をご記入の上、下記あてにお送りください。

【あて先】熊本県市町村総室 合併推進班

●電子メールの場合／shichouson@pref.kumamoto.lg.jp ●FAXの場合／096-384-6561

●郵送の場合／〒862-8570（県庁専用郵便番号・住所の記載は不要です）

お問い合わせ先 熊本県市町村総室 合併推進班 ☎096-333-2106 ※FAX、電子メールは上記のご意見募集先と同じです。

市町村合併ホームページ http://www.pref.kumamoto.jp/cities/gappei_hp/